

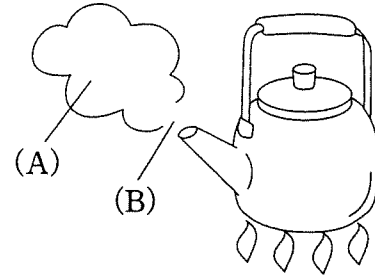
3 [25点] 次の各問いに答えなさい。

- (1) 七夕の物語に登場するおりひめ星とひこ星は、それぞれ夏の大きな角をつくる1等星です。それぞれの星の名前の組み合わせとして正しいものを、次の(ア)～(カ)の中から一つ選び記号で答えなさい。

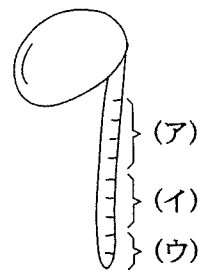
	おりひめ星	ひこ星
(ア)	アルタイル	ベガ
(イ)	ベガ	アルタイル
(ウ)	アルタイル	デネブ
(エ)	デネブ	アルタイル
(オ)	ベガ	デネブ
(カ)	デネブ	ベガ

- (2) 右の図は、やかんで湯をわかしたものです。図の(A)と(B)の部分は、水がどのような状態になっていますか。正しい組み合わせを、次の(あ)～(え)の中から一つ選び記号で答えなさい。

	(A)	(B)
(あ)	気体	液体
(い)	気体	気体
(う)	液体	気体
(え)	液体	液体



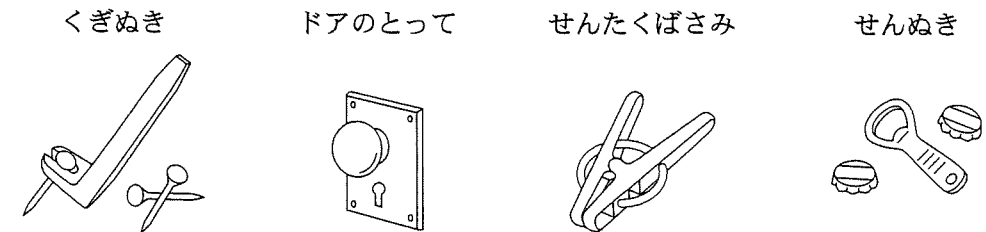
- (3) 右の図は、ソラマメの種子が発芽したときの根に、2mmおきに印をつけたものです。2～3日後に、印をつけたところの間かくが一番広くなるのはどの部分ですか。次の(ア)～(ウ)の中から一つ選び記号で答えなさい。



- (4) 特に春や秋の日本付近の天気は、西から東へ移り変わっていくことが多いです。これは、日本付近の上空を吹く何という風のえいきょうを受けているからですか。その風の名前を書きなさい。
- (5) 中身の入っていないびん（ガラス）のふた（鉄）が開かなくなったときに、ふたのまわりを直接火で温めると、ふたがらくに開くようになる理由を説明しなさい。

4 [25点] 次の各問いに答えなさい。

- (1) 次に示した道具のうち、輪じくを利用したものはどれですか。最も適するもの一つを選び、その名前を書きなさい。

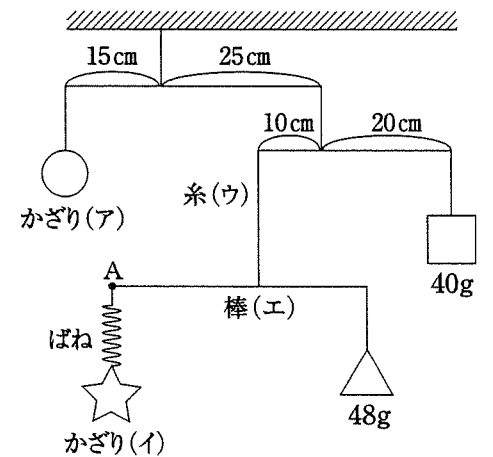


- (2) 京子さんは図工の時間に、部屋にかざるモビールを作りました。完成したモビールの、つりあいがとれ、棒は全部水平になりました。ただし、かざり(イ)をつけたところだけ、糸がたりなかつたので、ばねを使いました。棒、糸、ばねの重さは考えないとして、次の問いに答えなさい。

①かざり(ア)の重さは何gですか。

②棒(エ)の長さは40cmでした。糸(ウ)は、点Aから何cmのところに結んであるか答えなさい。

③モビールにつかったばねは、5gのおもりをつけると1cmのびました。図の状態のとき、このばねは何cmのびるか答えなさい。



- (3) 右の図は、輪じくとかっ車を組み合わせたものです。輪じく(ア)の半径は4cmと16cm、輪じく(イ)の半径は3cmと9cmです。

今、輪じく(ア)の半径16cmの方におもりAを、かっ車(ウ)におもりBを、輪じく(イ)の半径3cmの方に180gのおもりをつけました。輪じく、かっ車、糸の重さは考えないものとして、おもりAの重さを答えなさい。

